

指導能力の高い教員を目指し、技能と理論をバランスよく習得する。

体育学、学校保健、運動学、保健体育科教育学で構成されたカリキュラムで、専門知識・技能を身に付けます。
小学校教科の指導力に加えて、心と体への理解促進に努める小学校教員を目指します。
中学校教員養成を主体として、今後展開が予想される中高一貫教育に対応しうる教員を養成します。



〔 4年間の学び 〕

〈リアルな授業実践から学ぶ〉

保健体育専修では、指導能力の高い教員を目指した「理論」と「実践」を学びます。理論では、歴史学、心理学、社会学、哲学といった体育学をはじめ、力学、生理学、コーチング学を含んだ運動学や学校保健など幅広く学びます。体育実技では、学校体育で行われる実技領域（体づくり、器械、水泳、陸上、球技、ダンス、武道）の授業を開講し、発達段階に応じた指導法を学修します。保健体育科教育学では、体育授業の教材や内容を紹介し、実際の事例と照らし合わせながら学びを深めます。一例として、2年生の授業「初等体育科教育法」では附属名古屋小中学校体育館と保健体育棟講義室をつなぎリアルタイムで学び合い、鮮度の高い授業を展開します。

取得できる免許

【卒業要件に含める免許状】

小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状（保健体育）

【取得を優先して薦める免許状】

中学校教諭一種免許状（保健体育）

【所定の科目履修で取得可能とする免許状】

高等学校教諭一種免許状
（保健体育）

◎幼稚園教諭二種免許状

◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。



水泳（臨海実習）



初等体育科教育法



ダンス

先輩 Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 保健体育専修 4年
愛知県立半田高等学校出身



運動の楽しさと
誰もが自然と体を動かしたくなる工夫で
「やってみたい」を引き出したい

体を動かすことや体育授業に苦手意識を持つ子どもたちに、運動の楽しさを伝える指導方法に関心を持ち、実技授業で様々な練習法を体験しながら、誰もが自然と体を動かしたくなる工夫を学んでいます。体育科教育法の授業では、学習指導要領をもとに単元で何を学ばせるかを考え、運動のアイデアを話し合い、改善し共有することで指導力を高めています。先生方から、楽しみながら学べる方法や、身近な道具を使った指導のアイデアなど、現場ですぐに生かせる工夫を学ぶことができます。今後は、運動に苦手意識を持つ子どもも自ら運動に取り組めるような授業づくりを目指していきたいです。

■ 私の時間割（2年生後期）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等生活科教育法A		学校体験活動Ⅰ	中等保健体育科教育法	
2時限	初等社会科教育法A		学校体験活動Ⅰ	体育心理学	道德教育の倫理と方法
3時限	運動処方論	学校教育におけるICT	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。		
4時限	衛生学・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ				体育社会学Ⅰ・Ⅱ
5時限	キャリアデザインⅡ	情報の活用と管理			